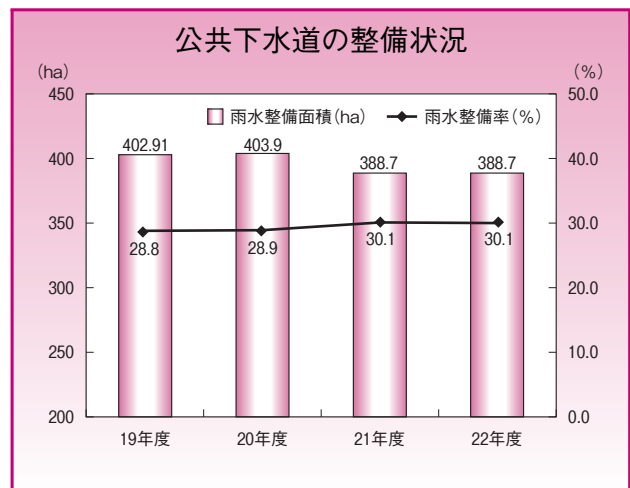
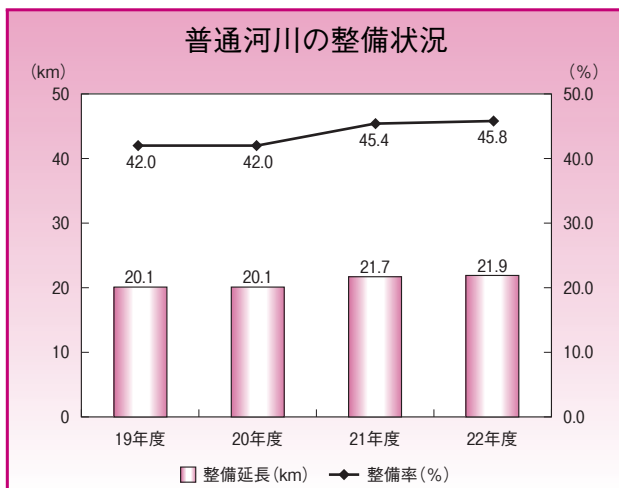


基本施策 4-⑥ 雨水排水対策の推進

現状

雨水の放流先となる河川が少ない地域で都市化が進んできたことや、ゲリラ豪雨多発の結果、降雨時の浸水被害が低地や市街地で慢性化するなど、総合的な対策が求められています。

市街地における降雨時の浸水被害については、雨水幹線の整備等により、著しい被害が慢性的に発生する箇所は減少しています。しかし、生活道路等における雨水排水については、依然として整備要望が高くなっています。



※平成21年度における整備面積の減少は、雨水整備に係る全体計画区域見直し（縮小）に伴うものです。

課題

- ・道路側溝等の末端排水施設と雨水幹線や河川との効果的な接続
- ・総合的な雨水排水対策

目指すべき方向

(1)雨水排水対策の推進

基本施策 目標指標

市民満足度

基準値（平成22年度）

47点



目標値（平成28年度）

57点

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

具体的な施策

(1)-1 河川等の整備

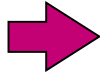
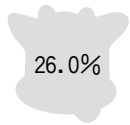
雨水排水の放流先を確保するため、一級河川蕪中川の延伸や熊川の改修とともに、蛇尾川の護岸や流路工の整備促進に努めます。

また、浸水被害を解消するため、雨水準幹線の計画的な整備を推進します。

主要事業 蕪中川1号線準幹線整備事業
(平成24～25年度)

目標値 雨水準幹線の整備率

現状(平成22年度)



目標(平成28年度)

41.9%



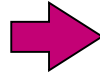
(1)-2 下水道雨水幹線等の整備

市街地の浸水被害を解消するため、下水道雨水幹線や道路側溝の計画的な整備に努めます。

主要事業 雨水管渠整備事業

目標値 雨水幹線整備面積

現状(平成22年度)



目標(平成28年度)

468.8ha



自然と共生する
まちづくり

快適で潤いのある
まちづくり

健やかに安心して暮らせる
まちづくり

安全で便利な
まちづくり

活力を創出する
まちづくり

豊かな心と文化を育む
まちづくり

創意と協働による
まちづくり